

第4回山口県地震・津波防災対策検討委員会の議事概要

1 日 時 令和7年3月18日(火) 14:00~16:05

2 場 所 山口県庁 本館棟4階 共用第2会議室

3 出席者 検討委員会委員 (15名出席、1名欠席)

4 議 事

- ① 令和6年能登半島地震の課題を踏まえた防災・減災対策の強化について
- ② 避難所運営検討部会の設置について
- ③ 南海トラフ・周防灘断層群地震津波被害想定の見直しについて
(前提条件・予測手法、地震動・津波浸水予測経過報告、普及啓発資料案 等)

5 主な委員意見

- ① 令和6年能登半島地震の課題を踏まえた防災・減災対策の強化について
 - ・「住宅耐震改修エキスパート人材育成事業」の低コストな工法の進め方について、山口県に合った方法等を考えていただきたい。
 - ・「防災・減災対策支援基金(中小企業制度融資)」について、BCP策定は中小企業こそやってほしいと思っているため、力をいれてやっていただきたい。
 - ・「物資搬送ドローンによる緊急物資輸送体制整備事業」について、強風時の運航状況、運搬できる積載量等についても確認等いただきたい。
 - ・若い世代の防災意識の向上について、各機関で様々な防災活動・防災教室をされているが、実施主体によって内容等も異なるため、それらを取りまとめ、改善等することも検討いただきたい。
 - ・様々な行政データのデジタル化・共有化等について、県と市町とでしっかりと連携をとって進めていただきたい。
 - ・山口県は地震の経験も少ないため、家具固定による転倒防止や配置等の対策をとっていない人が多い。これらの対策を、自主防災組織を中心に進めていただきたい。
- ② 避難所運営検討部会の設置について
 - 事務局から、部会設置の趣旨(資料2-1)、要綱改正(案)(資料2-2)、部会委員(案)(資料2-3)を説明し、承認いただいた。
- ③ 南海トラフ・周防灘断層群地震・津波被害想定の見直しに係る業務計画について
 - ・431種の地盤モデルを設定しているが、各地盤モデル作成時のボーリング数について付記いただきたい。
 - ・時系列の災害シナリオについて、学校の教材としても活用できるものにしていただきたい。
 - ・パンフレット・リーフレットについては、読まなくても伝わるような、そのようなものを作成いただきたい。